

# 2021年度(令和3年度) 福山市子ども議会 報告・感想文集



# 2021 年度（令和 3 年度）福山市子ども議会 報告・感想文集

## 目次

### 【開催報告】

実施要項	P1
子ども議員一覧	P2
本会議までのあゆみ	P3
本会議の様子	P5
質問・提案と答弁	P8
福山市子ども議会宣言	P13
子ども議会通信	P14

### 【感想文集】

感想文集	P18
------	-----

## 2021 年度（令和 3 年度）「福山市子ども議会」実施要項

### 1 目的

市政の現状や課題を調べ、それぞれの視点でまちづくりのための新たな施策を提案することで、地域や社会に関心を深め、主体性及び、福山への愛着と誇りを持てる子どもを育成する。

### 2 主催 福山市、福山市教育委員会

### 3 対象者 福山市に住所を有する、または市内の小・中学校に在籍する小学 5・6 年生、中学生。30 名。

- ※応募条件
- ・「事前学習会」に参加できること。
  - ・保護者の承諾が得られること。

### 4 「本会議」開催日・場所

2021 年（令和 3 年）12 月 25 日（土） 福山市議会 議場

### 5 応募方法

自分が考える“理想の福山市”にするためのアイデアを 2 つ、所定の応募用紙に記入し、期限までに事務局へ持参または郵送してください。

- ・応募期間 2021 年（令和 3 年）5 月 1 日（土）～6 月 7 日（月）※当日消印有効
- ・応募用紙は、福山市のホームページからダウンロードできます。

### 6 決定

6 月中旬に応募者全員に通知します。（応募者多数の場合は、選考を行います）。

### 7 事務局・問い合わせ先

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
電話：084-928-1046

### 8 本会議までの日程

開催日	場所	項目	内容
7 月 10 日(土) (午後)	まなびの館 ローズコム	認定書交付式	認定書交付式と オリエンテーション
		第 1 回事前学習会	市政について学び 質問のテーマを決める
8 月 3 日(火) (午後)	まなびの館 ローズコム	第 2 回事前学習会	「質問・提案書」作成
10 月 24 日(日) (午後)	まなびの館 ローズコム	第 3 回事前学習会	「質問・提案書」作成
11 月 3 日(水) (午前)	男女共同 参画センター		
12 月 25 日(土)	議場	リハーサル・本会議	

### 9 その他

- ・参加に要する交通費等は、自己負担とします。
- ・活動中の事故等については、「福山市市民活動総合補償制度」を適用します。
- ・活動中の様子は、広報紙やホームページに掲載することがあります。
- ・応募者全員へまちづくりパスポート 50 ポイントを交付します。
- ・子ども議員に採用された場合、出席日数に応じたまちづくりパスポートと、図書カード 2,000 円分をプレゼントします。

## 2021年度（令和3年度）福山市子ども議会 委員名簿

委員会名	委員名	発言要旨
福山駅周辺活性化委員会	石田 彩寧	「福山駅周辺の 魅力を増やす取組」について
	上野 凜人	
	檀田 詩月	
	大同 未桜	
	星山 昊輝	
	津川 理央	
スポーツで福山を 元気にしよう委員会	延廣 晃大	「スポーツを身近に感じ、 活力と元気にあふれる福山市」について
	星山 葉月	
	馬屋原 夢路	
	西村 香里奈	
	山本 光志朗	
	横山 詩珠	
学校から魅力発信委員会	原田 一加	「学校から学校周辺の魅力が 発信できる福山市」について
	岡本 涼巴	
	新田 暁	
	松浦 幸愛	
	筒井 るりか	
	岡崎 帆香	
ポイ捨て防止委員会	山本 憲誠	「ごみのポイ捨て問題」について
	森政 陽介	
	岡田 凜花	
	桑田 直希	
	藤井 皇至	
多様性を尊重する委員会	松岡 佳苗	「性の多様性を理解し、 尊重し合えるまちづくり」について
	Savazaki Kano	
	Carolina Yukari	
	兼田 あかり	
	岡川 莉央	
	尾方 梨華	
	小野 仁瑚	

# 本会議までのあゆみ

## 1 認定書交付式、第1回事前学習会

日時：7月10日（土） 13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 中会議室

### ○認定書交付

枝広市長より、子ども議員の代表者に認定書が交付されました。新型コロナウイルス感染症により、不安を抱えながら生活している中、すぐには答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力を意味する「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉の紹介を交え、「福山の魅力をたくさん知ってもらい、理想の福山市に近づけるよう、一緒に取り組んでいきたいと考えています。」とエールが送られました。

### ○市政についての学習：企画政策課

福山市がこれまでやってきた取り組みや変わってきたこと、今後の福山市のビジョンなどを説明していただきました。今まで知らなかった福山市の一面を学び、質問書をつくるヒントになりました。

### ○議長・副議長選挙

子ども議会本会議を進行する議長・副議長選挙を行いました。立候補者は2人で、それぞれ議長と副議長に立候補したため、無投票当選となりました。議長は盈進中学校2年生の星山葉月さん、副議長は加茂中学校3年生の山本憲誠さんとなり、当選後は、みんなの前でそれぞれ決意を述べました。

### ○委員会での活動

委員会ごとに分かれ自己紹介を行い、子ども議員に応募した時に書いた「理想の福山市」を発表する中で、どんな内容の質問や提案にするかを考えました。また、次回の事前学習会からは、各委員会で決めたテーマに関連する部署の職員が来るため、事前にどんなことを質問したいかをまとめました。



## 2 第2回事前学習会

日時：8月3日（水）13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 中会議室・小会議室

### ○質問書の作成

それぞれのテーマに関連する部署の職員の方に来ていただきました。前回まとめた質問を行いながら、現在の福山市の取組み状況や課題などを教わり、テーマについての内容を深めていきました。

子ども議員ならではの視点で質問書を作成するため、自分たちが考える課題などを担当課の方に聞き、質問したい内容を深めていきました。



## 3 第3回事前学習会

日時：10月24日（日）13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 大会議室

日時：11月3日（水）9時00分～12時00分

会場：福山市男女共同参画センター 会議室

### ○質問書の作成

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴って、予定していた事前学習会が延期や中止となり、本会議も10月から12月への変更が決まりました。思いがけず、第3回事前学習会が最後の学習会となり、急ぎ足で質問をまとめることになりましたが、各委員会の中で役割分担をするなど、協力しながら質問書を完成させました。



## 4 本会議当日

日時：12月25日（土）9時00分～12時00分

会場：福山市議会 議場

### ○リハーサル

本会議当日の午前中にリハーサルを行いました。なかなか入ることのできない議場という場所に緊張しつつ、午後からの本会議に向けて流れや動きを確認しました。



# 2021年度（令和3年度）福山市子ども議会 本会議

1 日時 2021年（令和3年）12月25日（土）13:30～15:30

2 場所 福山市議会棟3階 全員協議会室

- 3 本会議
- (1) 子ども議員紹介
  - (2) 理事者紹介
  - (3) 市長あいさつ
  - (4) 市議会議長あいさつ
  - (5) 開会宣告
  - (6) 議事（代表質問）
  - (7) 子ども議会宣言
  - (8) 子ども議会議長あいさつ
  - (9) 閉会宣告



- 4 解散式
- (1) 教育長あいさつ（講評）
  - (2) 記念品贈呈
  - (3) 子ども議会副議長あいさつ
  - (4) 記念撮影

## 本会議

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、理事者の出席や傍聴者の入場を制限して開催しました。

【子ども議員紹介】



【市長あいさつ】



【市議会議長あいさつ】



議長の開会宣言で子ども議会本会議が開会し、議事の進行は、議長と副議長が交代しながら務めました。

子ども議員は委員会ごとに質問や提案を行いました。理事者や傍聴者を前に緊張していましたが、リハーサルで練習した通り大きな声で堂々と発言できました。発言後は、市長や教育長からの答弁を熱心に聞いていました。

【議事進行（議長）】



【議事進行（副議長）】



【福山駅周辺活性化委員会】



【スポーツで福山を元気にしよう委員会】



【学校から魅力発信委員会】



【ポイ捨て防止委員会】



【多様性を尊重する委員会】



議事が終了し、子ども議会宣言策定委員の2人が子ども議会宣言を行った後、子ども議会議長のあいさつで本会議が終了しました。

【子ども議会宣言】



【子ども議会委員長あいさつ】





## 解散式

本会議終了後、子ども議員の解散式を行い、教育長から本会議の講評がありました。市長からの記念品贈呈では、子ども議員を代表して子ども議会議長が記念品を受け取りました。そして、子ども議会副議長があいさつした後、市長と教育長を囲んで記念撮影を行い、2021年度（令和3年度）福山市子ども議会の全日程が終了しました。

【解散式】



【教育長あいさつ】



【記念品贈呈】



【副議長あいさつ】



【記念撮影】



## 【福山駅周辺活性化委員会】



### 「福山駅周辺の魅力を増やす取組」について

現在の福山駅周辺は、「賑わっている感じが感じられない」、「私たち小・中学生や若者にとって魅力が少ない」などの意見が挙がりました。そこで、楽しみながら駅周辺を散策できるイベントの開催や、若者が興味を持つエリアを目指すことで、魅力的で人が集まる駅周辺になると考えました。

#### 福山駅周辺に人が集まるような提案

- ① 福山駅と福山城を一体的に活用したイベント等の開催について。
- ② 若者が集まる取組について。

## 【福山駅周辺活性化委員会】提案の資料



#### 市長からの答弁

①について、2022年は福山城が造られて400年という大きな節目の年となるため、1月には記念式典を開催、福山城天守がグランドオープンする8月からは、天守北側の鉄板張りの復元セレモニーや、福山城博物館のリニューアルオープンなど、多くの人に参加してもらえる様々な祝賀イベントを計画しています。

②について、これまでも、伏見櫓やふくやま美術館プロムナードのライトアップを行い、地元団体による「福山城あかりまつり」も開催されていますが、福山城天守の整備が終われば、福山城全体をライトアップしますので、夜の魅力がもっと高まると思います。

また、北口スクエア内のばら花壇には、ばらのアーチも造りますので、これを、ばらのフォトフレームがわりに使えば、福山城を背景にした素敵な写真を撮れると思います。皆さんの思い思いの映える写真を撮って、SNSなどで全国に発信してほしいです。

## 【スポーツで福山を元気にしよう委員会】

### 「スポーツを身近に感じ、活力と元気にあふれる福山市」について

私たちの委員会では、市民一人一人が楽しみながら体を動かすことで活気のある元気な街になると話し合いました。スポーツにはたくさんの種類がありますので、その中から自分が楽しめるものを見つける機会を増やすことで、楽しく体を動かすことに繋がると考えました。

#### スポーツを身近に感じるための質問と提案

- ① スポーツ施設で実施しているスポーツ教室について。
- ② 「エフピコアリーナふくやま」で行われる大会等について。
- ③ 誰でも参加しやすいスポーツイベントの実施について。

#### 【スポーツで福山を元気にしよう委員会】 質問・提案の資料



#### 市長からの答弁

①について、ダンスやサッカーなど、月ごとにいろんなスポーツが体験できる「ふくやまスポーツクラブ」などを実施しています。また、高齢者の方には、「生き生きシニアの健康運動教室」などの健康づくり教室を、障がい者の方には、健康・体力向上のためのスポーツ教室に加え、ヨガの体験会なども実施しています。

②について、これまで、バスケットボールBリーグの「広島ドラゴンフライズ」の公式戦や「全日本学生体操競技選手権大会」などスポーツの全国大会が実施されました。これからも、プロスポーツや全国規模のスポーツ大会を誘致するほか、柔道・剣道など武道7団体が集まる「福山武道祭」などを予定しています。

③について、子どもの頃に体験したスポーツが、将来、「好きなスポーツ」、「するスポーツ」になることが多くあるため、だれもが楽しくスポーツを体験でき、誰もが参加しやすいスポーツイベントを開催するなど、スポーツが身近に感じられるまちにしていきたいと思えます。



## 【学校から魅力発信委員会】

### 「学校から学校周辺の魅力が発信できる福山市」について

小学校や中学校のホームページなどで、自分たちの学校や地域のこと、歴史などを調べ、魅力を学校から発信したいという意見がありました。実際に学習や体験をしながら、自分たちで学校のホームページや SNS を活用して、地域の魅力を発信することで、福山市について詳しくなると同時に、各学校の魅力を多くの人知ってもらう機会になると考えました。

#### 学校から学校周辺の魅力を発信するための提案

- ① ホームページや SNS を活用して、地域の魅力を発信することについて。

#### 教育長からの答弁

①について、これまでも、調べたことを学習発表会や地域の文化祭で発表している学校や、地域の海に住む生物を載せた生物図鑑を作成し、市内全校に配付した学校、福山のプロモーションビデオを製作し、学校のホームページで紹介している学校もあります。

学校のホームページを活用して発信することは、福山市や地域の魅力を多くの人知ってもらえますが、一方通行になりがちな面もあるため、発信した内容について、意見をもらうなどの工夫があるとさらに良いです。

今年度、みなさんに配付した学習端末を活用することで、動画や写真を編集したり、パンフレットを作成したりするなど、様々な工夫できると思いますが、その過程で、個人情報の扱い方など守らなければならないルールを学んでいくことも大切です。

みなさんから先生に相談して、チャレンジしてみてください。教育委員会も、みなさんのチャレンジが、多くの人に福山市の魅力を知ってもらえることにつながるよう、必要な支援をしていきます。

## 【ポイ捨て防止委員会】

### 「ごみのポイ捨て問題」について

私たちの住んでいる地域では、草むらや川、道路などにごみが落ちている光景を見ることが多いため、ごみポイ捨て問題について話し合いました。福山市にはごみのポイ捨てを防止するために、環境美化に関する条例がありますが、私たちも少しでもごみのポイ捨てが減るようなアイデアを考えました。

#### ごみのポイ捨てを減らすための質問と提案

- ① 条例の内容について。
- ② ポイ捨て防止の市の取組について。
- ③ ポイ捨てが減るように考えたごみ箱について。

#### 【ポイ捨て防止委員会】質問・提案の資料



#### 市長からの答弁

①について、みんながそれぞれ協力して、ポイ捨てをしないようにすることで、美しく住みやすい街にすることを目的としており、市の役割は、ポイ捨て防止の対策を考え、その取組みを市民のみなさんへお知らせすることです。

②について、監視カメラを取り付けや、広島県・警察などと一緒にしたパトロール、ポイ捨てなどを禁止する看板の設置、学校や地域への環境出前講座の開催などを行っています。これからもSNSなども活用した、分かりやすい情報発信に力を入れていきます。

③について、使う人が楽しみながら利用したくなる工夫がしてあり、ごみのポイ捨てが少なくなるのではないかと思います。コンビニエンスストアなどでは、ペットボトルや古紙専用の回収機を設置しているところが増えており、回収機を利用した人はポイントが貯まるなどのサービスが受けられ、取組の継続につながっています。一緒になって、ごみのポイ捨ての少ないきれいな町となるよう取り組んでいきましょう。

## 【多様性を尊重する委員会】

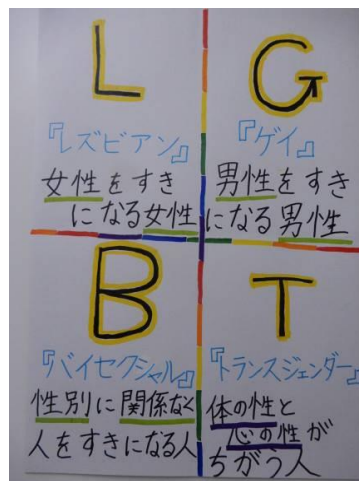
### 「性の多様性を理解し、尊重し合えるまちづくり」について

福山市を、笑顔で生活できる住みやすいまちにしたいと話しました。性的マイノリティの方の中には、さまざまな困難や不安などを抱え、生きづらさを感じている人がいることを知りました。全ての人々が安心して暮らすための環境づくりや、多様性を理解し合い尊重し合えるまちづくりについて考えました。

#### 性の多様性を理解し、尊重し合えるまちづくりのための提案

- ① 性的マイノリティのための“にじいろ電話相談”について。
- ② 性的マイノリティの方への理解を深める施策について。

## 【多様性を尊重する委員会】質問・提案の資料



#### 市長からの答弁

①について、住みやすい社会にするためにはさまざまな困難や不安、悩みごとなどを気軽に相談できる窓口が欠かせないと思っています。性的マイノリティのための“にじいろ電話相談”では、2021年10月から笠岡市民の方からも相談を受け付けており、今年度中には、府中市と神石高原町にも広げていくなど、より多くの方が、相談しやすくなる方法を検討していきます。

②について、視聴覚教材（DVD）や「リーフレット」を活用した地域での学習会、市の広報紙等への掲載、本庁舎や支所、中学校での「パネル展示」のほか、LGBTへの支援や応援の気持ちを表す「レインボーリボン」の配付などに取り組んできました。また、戸籍上の性別に関わらず、市役所が二人の関係を「婚姻」と同等であると承認する「パートナーシップ制度」の導入については、当事者団体と協議を進めてまいります。

# 「子ども議会宣言」

私たち子ども議員は、福山市の全小中学生を代表して  
福山のよりよい未来を目指すため、次のことを宣言します。

私たちは、誰もが暮らしたくなる魅力的なまちを、  
市民が活力と元気に満ち溢れ、活気のあるまちを、  
学校から様々なことに取り組むことのできるまちを、  
環境問題へしっかり対策をとり、自然を未来に繋ぐまちを、  
そして、全ての人にやさしいまちを目指します。

長い歴史をもった福山市で暮らしている私たちは、  
これまでの歴史を学び、人々の思いを知り、  
未来の福山のために、私たちに何ができるかを考え、  
福山のさらなる発展に向けて、精一杯努力をします。

2021年（令和3年）12月25日

福山市子ども議会子ども議員

新田 暁

星山 昊輝

# ふくやま 子ども議会通信

2021年度 第1号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第1号 広報委員 横山 詩珠 ・ 桑田 直希

## 7月10日(土) 認定書交付式

私は福山市子ども議員の認定書交付式に参加できて嬉しかったです。テレビやインターネットなどでしか市長を見たことがなかったから、自分の目で見られてときどきしました。交付代表者が前に出て市長から認定書をもらっている姿を見ると、自分が受け取っている感じになり、がんばろうと思いました。(横山)



## 第1回事前学習会

### 《市政についての学習》

市政についての学習で、私は福山市のことが詳しくなりました。特に印象に残ったのは、福山市ばらのまち条例です。この条例は、福山市の花がばらと菊なので、ばらをたくさん咲かせて福山市をみんなに知ってもらうためにつくられたと思っていました。

しかし、その目的は市民と行政が一体となって、ばらのまちづくりを進め、平和の尊さや心の豊かさを実感できる、活力のある福山を実現する目的ということがわかりました。

これからは、ローズマインドを大切にしたいと思います。(横山)



### 《委員長・副委員長の選出》

「理想の福山市」が似ている人で委員会になって集まりました。その中で、中心となる委員長・副委員長を委員会ごとで決めました。(桑田)



### 《テーマ決め・質問シートの作成》

委員会ごとに質問や提案したいテーマを決めました。次の学習会で質問したい内容を質問シートに書きました。次回はテーマに関係する部署の方が来られるので、疑問に思ったことはしっかり質問したいです。(桑田)

いよいよ子ども議員としての活動がはじまりました。多数の応募者の中から、選ばれた子ども議員として学習していくことになります。これから10月31日(日)の本会議に向けて、みんなで質問や提案を考えていきましょう。コロナに負けず、全員で協力して頑張りましょう!(南)



# ふくやま 子ども議会通信

2021年度 第2号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第2号 広報委員 山本 光志朗 ・ 津川 理央

## 8月3日（火）第2回事前学習会

担当課からの学習では、担当課の人に今どんな取り組みをしているのかなど、自分たちの質問に答えていただきました。

テーマについての意見交換では、担当課の人から教えていただいたことを参考に、提案の方向性を決め、質問・提案書の全体の詳しい構成を決めていきました。

次回からは、質問・提案書を作成していくので、しっかりと話を聞いて分かりやすい文を作りたいです。（山本）



各委員会に分かれて、自分たちのテーマについて関係のある専門の方に話しを聞きました。むずかしいこともありましたが、福山について真剣に考えることができました。

各委員会で色々な意見が出されました。自分が考えていなかったような意見が出されて「とても良い意見だなあ。」と思いました。これからみんなで協力して議会当日までに良い質問・提案書を作っていきたいです。（津川）



# ふくやま 子ども議会通信

2021年度 第3号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第3号 広報委員 岡川 莉央 ・ 小野 仁瑚

10月24日(日), 11月3日(水)  
第3回事前学習会



今日は、主に各委員会に分かれて質問書を作成・完成させました。「今日1日で仕上げられるかな?」「間に合わなかったらどうしよう。」と最初は心配でしたが、グループで協力して完成させることができました。

他にもフリップの作成をしました。課題(テーマ)について、初めて考えた人でも分かるように、分かりにくい言葉を台紙に描きました。(岡川)



各委員会に分かれて、質問やテーマを決めていきました。担当課の方々に協力していただきながら、自分たちの求める福山市について真剣に考えることができました。

各委員会で様々な意見が出されました。担当課の方々に、現在の取組みについて教えていただき、質問・提案書を作るうえでの参考にさせていただきました。(小野)



## 本会議に向けて

次回は本会議です。ハキハキと大きな声で、たくさんの方に知ってもらいたいことを伝えて、発信していきたいです。(岡川)

本会議でもみんな協力し、これからの福山市についてたくさんの人に知っていただきたいと思います。(小野)

# ふくやま 子ども議会通信

2021年度 第4号



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第4号 広報委員 岡崎 帆香・筒井 るりか・西村 香里奈



12月25日(土) 本会議

福山市子ども議会の本会議が行われました。

5つの委員会ごとに、市長・教育長に質問や提案を行い、それに対する答弁をいただきました。本物の議場で、市長や副市長、教育長の近くで質問・提案をすることはとても緊張をしましたが、普段できないような貴重な経験をすることができました。

新型コロナウイルスの影響で、本会議が延期になりましたが、開催できたことが奇跡だと思います。本会議で行ったことや、市長と教育長がおっしゃっていたことを日常に活かせるようにしていきたいです。(岡崎)



今日は本会議当日でした。「みんなに伝わる声で話せるかな。」と心配しながらリハーサルをしました。お昼休憩になると、「みんな、そんなに仲が良かったかな？」と思うぐらい話し声や笑い声が控室に響いていました。

本会議前、傍聴席に入ってくると「たくさんかんでしまわないかな。」と不安になり、緊張してしまいました。ですが、感情を込めて話すことができ、ほっとしました。

今後はこの経験を学校や将来、社会に出ても活かしたいと思います。とても良い体験ができました。関係者の方、子ども議員の皆さん、ありがとうございました。(筒井)



福山市役所にある議会棟の議場で本会議が開催されました。今年度は、昨年度のような一人一問一答とは異なり、5つの委員会に分かれ質問や提案を行いました。絵を描いたフリップを使いながら、わかりやすい質問・提案になるように工夫しました。それに対して市長や教育長から、今やっていること・わかっていること、提案への考え、今後の取り組みについて丁寧に答えていただきました。

今回の本会議の最後に議長あいさつで「オンラインでは味わえない、対面で話すことの空気感やすばらしさを感じることができました」と発言されましたが、私も本当に同様に感じました。

事前学習会が延期・中止となり、本会議も開催できないと考えていたので、他の子ども議員と顔を合わせて、福山市を良くすること、誰かの役に立ちたいと考えられたことが良い経験となりました。

私は、初めて参加しましたが、福山市がとても好きになりました。もっともっと福山市のことを知りたいと感じました。今回の経験を活かし、来年もぜひ参加したいです。(西村)



## 「この子ども議会を通して」

福山市立城南中学校 2年 石田 彩寧

私は、この子ども議会を通していろいろなことを得ることができました。その中から何個かピックアップして紹介していきます。

まず、事前学習会でのことです。私は用事とかぶってしまい 1 回しか参加することができませんでしたが、その 1 回でも得た力があります。それは、責任感を持って行動する力と、人の意見をまとめたり、そこから他の意見に変換する力を得ることができました。

責任感を持って行動する力がついたのは、初めて委員長を任されたからです。話し合いを進めるのも、自分の仕事だったので 1 つ 1 つの行動に責任感を持ちながらやることをがんばった結果、この力がつきました。

2 つ目の人の意見をまとめたり、そこから他の意見に変換する力は、話し合いの時につきました。自分の意見を言っただけでは、いつまでたっても終わらないし、委員長として仕事できていないことにもなります。今回は小学生の多いグループだったので、小学生の意見と自分の意見をまとめたり、それを他の意見にすることはとてもむずかしかったけど、自分なりにがんばれたので、この力がついたと思います。

他には、本会議で得たことについてです。私は本会議で、誰に何を伝えたいのかを考えて行動するということができるようになりました。演壇に立って話す時には、市長さんたちの方を向いて話せません。なので、後ろを向いていてもアピールできるように、気持ちを込めて発表することができたので、この力がつきました。

私は、この得た力を無駄にはしません。学校生活だけでなく、日常生活にも活かしていき、もっと充実させたいです。来年も参加することができれば、議長選挙に立候補したいと思っています。ありがとうございました。

## 「子ども議会」

福山市立神辺東中学校 3年 原田 一加

私は、子ども議会を通して、意見を言う大切さだったり、人の意見と自分の意見を組み合わせる難しさを知りました。でも、みんなと協力して、何か 1 つのものを作り、発表する達成感を感じました。

子ども議会はとても楽しかったし、班のメンバーも意見をしっかり出してきて話し合いとかもスムーズに進みました。話し合いがスムーズに進むことで、みんなと話す時間も増えて、班の仲も深まったように思います。何気ない時間も班の人たちと話しながらいると楽しかったし、休憩時間で仲が良くなったから、話し合いの時に意見をしっかり言えたと思います。このことから意見を言うには、仲が良く、信頼関係がいることがわかりました。

子ども議会の経験から、自分の意見を最後まで言う力と、人と関わる大切さと、自分に自信ができました。子ども議会でもとても良い経験ができたし、自分になかった力、知らなかったことが、子ども議会を通してわかりました。とても楽しかったです。



### 「子ども議会でついた力」

福山市立福山中学校 1年 上野 凜人

僕は、この子ども議会でたくさんの力がつきました。

一つ目は、話す力です。僕は市長の答弁の後、感想を言う役割がありました。その時はとても緊張して、職員の人から渡された例文を少し変えて読んでくらしでしたが、前の自分なら例文をそっくりそのまま読んでいたと思います。

二つ目は、コミュニケーション力です。僕は、最初は誰とも話せず、場に馴染めていませんでした。しかし、本会議の時には、星山君といろいろな話をして、他の班の人とも話せるようになりました。

これらのことから、僕は子ども議員に選ばれて良かったです。

### 「子ども議会で経験して得た物感じたこと」

福山市立多治米小学校 5年 藤井 皇至

僕が子ども議会を通して得た物、感じたことは二つあります。

一つ目は、初めて子ども議会に参加して副委員長になったことです。まず、子ども議会があることを教えてくれたのはお母さんで「やってみる？」と聞かれたので「やってみる」と答え応募しました。

子ども議員をやってみると楽しかったです。委員会の委員長はまだ早いと思ったので、副委員長をやりました。委員長がしていることをまねして、がんばってきました。こうすることで、できている人のまねをするという力がつきました。

二つ目は、初めて議場に行ったことです。これは子ども議会だけのイベントだと思います。なぜなら、これまでいろいろなイベントに参加してきましたが、すごい場所で最後をしたことがなく、たくさんの人に来るということもありませんでした。だからぼくは、またやりたいと思います。

また、この子ども議会をインターネットなどにたくさん流せば、いろんな人が参加できると思います。

すごい経験をありがとうございました。

## 「よりよい福山市を創るために」

福山市立樹徳小学校 6年 岡川 莉央

私は、子ども議会に参加して、新たに福山市の良いところや改善すべきことを見つけることができました。私達のグループでは、LGBTについて調べていきました。たくさんの事実を目の前に、私達は何ができるのか考えるのは、とても難しいことでしたが、同じグループの仲間と支え合い、質問書の内容を決めていきました。

私達のグループだけでなく、他のグループも意見を持ち、仲間と協力しながら進めていったと思います。

子ども議会本会議では、事前学習会を通して自分達で作った質問書を読み上げ、市長から答弁をいただきました。なるほど、そういうことをしているんだ、と思いながら答弁を聞きました。自分が課題について考えたことで、少しでも多くの方が幸せな生活を営めるようになると良いです。

他のグループの質問を聞いていくと、確かにそうするといいかも！と思ったり、今はそういうことが行われているんだな、と思ったりすることが多くありました。そして、福山市についてたくさんを知ることができました。

私は、この子ども議会に参加して、何かについて調べ、発信する力をつけることができました。この力を今後の生活に活かし、よりよい福山市になるように考えていきたいです。

## 「子ども議会」

福山市立新涯小学校 5年 桑田 直希

ぼくは、子ども議会の事前学習会で、担当課の方に話を聞いたとき、リサイクルプラザのことについて質問しました。すると、来られた方が「次はリサイクルプラザの職員も連れてくるよ。」とおっしゃっていたので、話を聞くのを楽しみにしていました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、事前学習会が中止になったので、話を聞くことができなくなり、とても残念でした。

なので、来年も同じ環境についての「理想の福山市」で応募し、今年聞けなかったことを聞きたいです。来年もよろしくお願いします。

話を聞かせてもらった廃棄物対策課の岡田さんの話は、専門的で勉強になり、とても楽しかったです。また会える予定だったのが会えず、お礼を言えなかったもので、よろしくお伝えください。

## 「子ども議会を終えて」

福山市立手城小学校 5年 津川 理央

子ども議会を終えて、とてもいい経験になったと思います。私自身、福山に興味を持てるようになったし、福山に住んでいてよかったと思いました。

始め、子ども議会に応募した時は、自分にきちんと意見が言えるか不安でした。でも、認定書交付式で枝広市長の話を聞いてとても緊張したけど、がんばらないといけないと気がひきしまりました。学習会は難しかったけど、福山について色々分かり、深く考えることができました。そして福山を活性化するために、みんながどのように計画を立てているかが少しわかりました。とても興味深く、すごいなと思いました。

活動の中では、グループで話を進めるうちに友達ができうれしかったです。同じ小学校の人がいなくて、さみしいなと思っていたけど大丈夫でした。

私たちのテーマは福山駅周辺を活性化させることだったので、福山駅周辺やお城を見に行ったりして、いろいろアイデアを考えるのは楽しかったです。グループの中でも自分の意見を言えてよかったです。

本会議では、議場に入れてうれしかったです。議場はテレビでしか見たことがなかったですが、実際の議員席に座ったり最後に議長席に座れてよかったです。

自分の意見が言え、それを真剣に枝広市長が考えて答えてくださり、うれしかったです。そして自分の意見を言うことは、改めて大切だと思いました。

これからも市政について考えて、より活気のある福山にしていきたいです。

### 「子ども議会に参加してみた」

福山市立戸手小学校 6年 檀田 詩月

最初は、知らない人がたくさんいたりして不安でしたが、子ども議会に参加したところのある中学生や高校生サポーターの人が手助けをしてくれて、不安がなくなりました。本会議では、議長の星山さんが話しかけてくれたので、緊張がほぐれました。

子ども議員になって良かったことは、普段あまり関わることのない他校の人やまちづくり推進部の人、市長さんや教育長さんとお話しをしたり、意見を交流することができたことです。特に、市長さんや教育長さんと関われるのは初めてだったので嬉しかったです。

今後、子ども議員になって体験したことを学校生活などで活かせたらいいと思います。



### 「子ども議会で僕が得たもの」

福山市立至誠中学校 3年 延廣 晃大

僕が子ども議会を経験して得たものは、数多くあります。その中でも特に思った二つを紹介します。

一つ目は、小学生と中学生が協力することの大切さです。小学生の持っているアイデアやエネルギーは、僕には生み出しにくいものです。そんな、熱量を持って福山市について考えることができたことは、これから生活していく中で、大いに役に立つと思います。なかなか、他の学校の人と交流する機会がない中で、この体験は、もっと深くより身近に福山市のことを知れたと思います。



二つ目は、福山市のことについて多くのことを学べたことです。普段生活している中で、福山市の問題や、改善すべきところを考えることは、まずないと思います。僕もありませんでした。でも、一度「子ども議会」を経験すると、福山について考えて過ごそうと思えるようになったと思います。例えば、僕がいた委員会は、もっと自分が知らないスポーツを、気軽に体験できる機会を増やしてほしいと議会で言いました。そうすると、小さい子からお年寄りまでスポーツや運動することを通じて、もっと元気になれると考えたからです。僕は、こんなことハ初めて考えました。これからも日々の生活の中での、小さな気づきを見逃さないように過ごそうと思えました。

他にも、普段入ることのできない議場であったり、会うことのできない市長、教育長とも会うことができました。

またこのような機会があれば、参加してみたいと思います。初めての応募で、初めての「子ども議員」でしたが、色々な人と協力しながら、一緒に福山市をより良くしていこうと考えることができ、本当に良かったです。ありがとうございました。

## 「福山市子ども議会を経験して」

福山暁の星小学校 6年 大同 未桜

私が、福山市子ども議会を経験して一番実感したことは、自分の意見をしっかりと述べる大切さです。

事前学習会では、福山駅周辺の活性化について、みんなで話し合いました。自分の意見を言わないと話し合いが進まなかったり、自分の意見で方針が変わったりすることもありました。また、私は委員長や副委員長という立場ではないけれど、少しだけ、意見をまとめるのを手伝ったことがあります。その時、しっかりと具体的に述べてくれた人の意見は、とてもまとめやすかったです。話し合う立場からも、まとめる立場からも、意見をしっかりと述べることの大切さを実感することができました。

また、本会議を通じて、福山市の政治にも関心を持つことができました。政治というのは思った以上に大変で、でもやりがいがある仕事だということが分かりました。

ぜひ来年も福山市子ども議会に応募して、私達の身近な政治に、今よりももっとふれてみたいです。

## 「子ども議会を終えて」

福山市立加茂小学校 6年 山本 光志朗

ぼくは、この子ども議会を通して、二つの事を学ばせていただきました。

一つ目は、堂々と人前に立つ力です。この子ども議会の本番は、リモートで生中継されました。つまり、たくさんの人に見てもらった可能性があります。なので、今までのことに比べて一番緊張しました。このような経験は、めったにないので、これからは学校で前に出る時も、自信を持ってがんばりたいです。

二つ目は、仲間と一緒に物事を成しとげるすばらしさです。子ども議会では、一つのグループで提案・質問をしました。そのための話し合いの中で、他のみんなががんばっていたので、ぼくもがんばらなきゃと、自分の気持ちを高めて今まで以上に努力しました。そして本番では、最後までやりきることができました。終わった時はとても気持ちよく、楽しかったなと思うことができました。これからは、学校でもクラスみんなといっしょにさまざまなことをがんばりたいと思いました。

ぼくは、この子ども議会で、さまざまなことを学ぶことができました。この子ども議会は、さまざまな初めての経験をでき、さまざまなことを学べるので、できたら来年もチャレンジしてみたいなと思いました。この度は、さまざまな経験をさせてくださり本当にありがとうございました。

## 「初めての子ども議会」

福山市立本郷小学校 5年 横山 詩珠

私は初めて子ども議会に参加しました。

初日の認定書交付式では、すごく緊張しました。そして広報委員になったので、その時に私が思ったこと、感じたことを具体的に書きました。市政の学習では、緊張していた時に、中学生のお姉さんが「大丈夫だよ。」と言ってくれて安心しました。

学習をする中で、中学生の人達がみんなの意見をまとめて、一つのものにしていく姿がかっこいいと思いました。コロナウイルスの影響で学習会の日数が減ってしまったので、うまくまとまるか不安でした。でも一回の学習会の時間が少し長くなっていたので、無事にまとめられて良かったです。

本会議のリハーサルでは一通り通してやりました。リハーサルでも少し緊張しました。本会議では、自分の思っていたよりも人数が多くて、すごく緊張しました。本番だと、リハーサルよりもすらすらと言葉を言えませんでした。最後に議長席に座らせてもらいました。初めて座れたのでうれしかったです。

また機会があれば子ども議会に参加したいと思いました。

### 「子ども議会の副議長を経験して」

福山市立加茂中学校 3年 山本 憲誠

僕は今回初めて副議長を経験し、人前に立つことの難しさ、大変さを体感しました。また、その上で皆さんに議長・副議長を経験してもらいたいとも思いました。

なぜならば、議長・副議長は市議会議員の方のほとんどが座ったことのない、議長・副議長席に座り、議事進行を担当することができるからです。その席からは、傍聴席全体と子ども議員の席全体が見えるため、この上ない緊張感があります。通常の議席では味わえない貴重な体験だと思いますので、ぜひ皆さんに体験してもらいたいです。

僕達は今年一年で三回の学習会を通して、福山市に対する質問・提案をグループで考え、まとめ、本会議で発表することができました。コロナ禍でもそれができたのは、青少年・女性活躍推進課の方々や、それぞれのグループで教えていただいた担当課の方々、学校の先生、保護者の皆様の協力のおかげです。心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、子ども議員として参加できるのは今年で最後になりますが、来年からは高校生サポーターとして参加したいです。

### 「子ども議会の経験」

福山市立神辺東中学校 2年 森政 陽介

僕は、学校で配られた案内を見て、福山市の役に立ちたいと思い、子ども議会に応募しました。特に、環境問題について興味があったので、環境問題のことにについて述べました。

事前学習会は、コロナウイルスの影響で4回から3回になり、少し厳しかったですが、本番では、しっかりと考えたことを伝えることができました。

僕は、この子ども議会で多くのことを学びました。ここで学んだことを日頃の学校生活やこれからの進路に活かしていきたいと思います。

## 「コロナで分かった感謝」

福山市立福山中学校 1年 松岡 佳苗

私は二回目の子ども議会を通して、感じたこと得られたことがたくさんありました。

一つ目は、感謝です。今年は新型コロナウイルスの影響で、事前学習会の回数も減ってしまったけれど、本会議が無事に実施できたことが、とてもすごいことだということを実感することができました。去年とはまた違った形で実施することができ、様々な経験ができました。また、副委員長として参加できたことです。前は大きな役割ができなかったのに、経験できてとても良かったです。これができるのもすごいことなんだと改めて思いました。

二つ目は、協力することです。一人での作業ではないため、特に得られたと思いました。特にグループで意見をまとめるときに、委員長と協力して意見をまとめることや、同じグループの人と協力して原稿を考えたりすることができました。普段の生活の中では、他の学校の人と交流したり協力する機会はないので、良い機会になりました。

三つめは責任感です。副委員長としてだけでなく、子ども議員として何事にも前向きに責任を持ち仕事をすることができました。本会議でも事前学習会でも、自分の役割をしっかりと自覚して行動できました。

私はこの子ども議会を通して、コロナがあるからこそ分かった感謝や気づき、得られたことがたくさんありました。この経験が無駄にならないように、学校でも活かしていきたいです。学習会も減り、あまり交流する機会がなかったけれど、グループで本会議まで協力して実現でき、とてもうれしかったです。

今回はあまり学習する機会がなく、交流もできなかったけど、参加して得られることが増えたので、これからも様々なことに挑戦していきたいと思います。

## 「二つのことが変化した」

福山市立宜山小学校 6年 岡崎 帆香

私は、子ども議会を通して変わったことが二つあります。

一つ目は、福山市に興味を持つことができたことです。やる前まではあまり興味を持っていなかったけど、子ども議員として学習会や議会を通して、福山市の魅力や、あともう少して築城 400 年をむかえる福山城など、福山市についてたくさんのことを詳しく知ることができました。

二つ目は、考える力がついたことです。やる前までは、考えることは普通にできていたけど、子ども議員を経験して、レベルアップして成長し、もっと考えることができるようになりました。

福山市子ども議会を通して、いろいろなことを得て、学校生活に活かしていくことができるので、やってよかったです。

## 「子ども議会を終えて」

福山市立深津小学校 6年 新田 暁

僕は、子ども議会に参加して学校では経験できないことを経験し、違う学校の人や年齢の違う人と話し合ったり、たくさんのことを学びました。今回の子ども議会は二回目でしたが、前回よりも得るものが多かったです。その理由はいくつかあります。

一つ目は、兄が子ども議会宣言をする姿を見て、僕もいつか策定委員になり、宣言をしたいと思っていました。今年は、念願がかない策定委員になれたので嬉しくて、何回も何回も練習して、自信を持って宣言を言うことができました。

二つ目は、前回の子どもの議会の経験があったので、議会の活動に落ち着いて取り組めたことです。コロナ禍で昨年は、委員会形式でしたが、今年は今まで通り、議場で議会形式で行われました。やはり、議場は特別な場所で、特別な思いがあり、より良い緊張感で頑張ることができました。そして、コロナ禍でも子ども議会を開催してくださったことを大変感謝しています。

三つめは、福山のことをさらに良く知ることができたことです。そして、前よりも福山について色々考えるようになりました。「福山がもっと素晴らしい街になればいいな」、「他の街の人が住みたいと思うようになったらいいな」と思う気持ちが強くなりました。子ども議会では、僕たちができることは何かを皆で話し合い、たくさんの意見を出すことができました。子ども議会に参加することで、僕は前よりずっと福山のことを好きになりました。中学生になっても子ども議会に参加し、もっともっと福山のことについて学び、福山のまちづくりのお手伝いをしたいと思っています。



## 「子ども議会を通して」

盈進中学校 2年 星山 葉月

私は今回の子ども議会を通して学んだことが二つあります。

一つ目は、人と意見を交わしたり、議論を行うことの楽しさです。今は学校でも班ワークが禁止になっており、向かい合った机で話をするのが全くありません。そのため、みなさんと距離をとりながらも相手の顔を見ながら話をする、討議をすることがとても新鮮でした。また、やはり人と話すことは楽しいし、大切だと改めて感じました。

二つ目は、リーダーとしてみなさんをまとめることの大変さです。人と話すことや意見をまとめることは好きだったため、がんばろうと思っていましたが、実際に行ってみると思った以上に難しかったです。たくさんの意見を一つにまとめることの難しさを改めて実感しました。しかし、大変なことはありましたが、それ以上に終わった時の達成感は大きかったです。

議長席に座れたこと、私のことを「議長さん」と呼んでくれたこと、普通に生活しているだけでは味わうことができないことを、たくさん経験することができました。

子ども議員のみなさん、関係者のみなさま、本当にありがとうございました。

## 「子ども議会を通して」

福山市立曙小学校 5年 星山 昊輝

ぼくが子ども議員になりたかった理由は、姉が子ども議員をやっているのを傍聴席で見て、大人の前で堂々と発言できる姿を「かっこいい」と思っていたからです。議会当日、議員席に座ってみると、緊張して背筋がしゃきっとなりました。

事前学習会を通して、学年が違っていても意見が言い合えて、だんだん仲が深まり、友達になりました。本会議の日に少し話すだけでも心強くて、緊張がほぐれるほど仲良くなれてよかったです。

子ども議会宣言では、最初は緊張していたけど、傍聴席にいる学校の母先や生の顔が見えて、不思議と気持ちのがのってきて、大きな声で最後までがんばれました。堂々と発言する夢が達成でき、かっこいい自分になれたと思います。

子ども議員になれて堂々と言えたことに自信を持ち、これからも福山市のことに興味を持ち学校生活にも活かしていきたいと思います。

## 「はじめて子ども議員をして」

福山市立御幸小学校 6年 筒井 るりか

私は今年度はじめて子ども議員になりました。「どんなことをするのかな。」「本会議ってどんな感じですかのさ。」という明るい気持ちがありました。しかし、それと同時に「みんなの前で意見が言えるかな。」「間違えてしまったらどうしよう。」と不安も生まれました。

そんな気持ちがある中、第一回事前学習会が行われ、初めて子ども議員のみなさんと顔をあわせました。委員会ではみんな優しく、私が失敗してもフォローしてくれました。そのおかげでもっと自分に自信を持てるようになりました。

本会議では緊張し、少しかんでしまった所があったので、ハキハキと話せるよう、これからも子ども議会の経験を活かして、成長できれば良いなと思いました。

## 「子ども議員を経験して」

福山市立御幸小学校 6年 西村 香里奈

私は、最初「福山市子ども議員」というものをよく知りませんでした。ですが、自分たちが一日限定の福山市議会議員になれるということに興味を持ち、「子ども議会」に参加しました。

初めて議場に入った時は、想像よりも広くおどろきました。私は委員会の中で最後に発言するので、とても緊張しました。少しかんだりしてしまったこともあるけれど、福山市を良くするために、アピールすることができて本当に良い経験をしました。

リハーサルの時は、ちゃんとできるかな、失敗したりしないかな、などマイナスな気持ちばかりでしたが、委員会の人や友達が話してくれたので、だんだん自信がつき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

私は、今回の「福山市子ども議会」に参加して、いろんな人達が思っていること、自分にできることなどを聞き、これから私たちが福山市でより良く暮らしていけるようにするには、どうすれば良いかを学ぶことができました。

また、私は福山市のことをあまり知れていないので、福山市のことを知ることをはじめていこうと思いました。

私にできることは、小さなことでもたくさんやっっていこうと思いました。

## 「初めての経験」

福山市立千年小学校 6年 尾方 梨華

私は初めて子ども議会に参加しました。私たちの班は、「LGBT」について発表することになりました。私は今まで「LGBT」という言葉を知りませんでした。「LGBT」は、心の性と体の性が違ったり、同性の方のことを好きになる人のことをいいます。そして私のように「LGBT」のことについて知らない人にどのような方法で知ってもらうかを考えて、「LGBT」の方のためにつくられた工夫などを伝えることにしました。

そして「LGBT」のことについて詳しい人に話を聞くと、「虹色電話相談室」という相談場所があることを初めて知りました。



本会議が近づいていくにつれて、「どのように伝えたら、LGBTについて知ってもらえるのか？」をずっと考え、人をひきつける表現をするとよいことを知りました。大事な所を強く言ったり、呼吸をするタイミングに気をつけてしゃべるように練習をしました。

私は、子ども議会に参加して良かったことは、自分の意見をはきはきとしゃべれたことです。今までは、自分から発表するのが苦手だったけど、自分が思うように、はきはきしゃべることができました。

私は、来年の子ども議会もやりたいと思っています。そして、福山市を良くするにはどうすれば良いかもっと考えたいです。この一年間ありがとうございました。

## 「子ども議会を通して」

福山市立松永中学校 1年 兼田 あかり

私が、子ども議会を経験して、身についたこと、感じたことは、たくさんあります。

一つ目は、「見知らぬ誰かと打ち解けて協力して物事に取り組む力」です。自分は、子ども議会には初めて参加したので、会議の場所には知っている人などはいませんでした。その中で、同じ委員会になって、一つのゴールに向かって一緒に取り組むことにすごく緊張しました。しかも、自分は委員長という立場があったので、余計に不安でした。けど、自己紹介を終えて、提案書のテーマ、内容を決定していくときに、静かに自分の話や提案を聞いてくれたり、しっかりとした理由を交えながらの提案をしてくれたりして、自分が抱えていた不安や心配はなくなっていました。

本番になって、一生懸命頑張った提案書も失敗なく読み終えることができました。こういうことがあったから、自分には「見知らぬ誰かと打ち解けて協力して物事に取り組む力」がついたと思います。

二つ目は、「本会議を終えての感想」です。子ども議会を終えての率直な感想は、「緊張した」「ちょっと失敗があったけど、しっかり成し遂げることができた」です。子ども議会の本番が本物の議場だったし、福山市の市長や教育長の人たちから直々に答弁してくれるということに、緊張しました。

ちゃんとしないと、と思いながら本会議に臨んだけど、最初からミスしてしまって最悪だ…ってなってしまいました。次回する機会があれば、ミスがないように頑張っていきたいです。

自分たち委員会のメンバーを支えてくれた方、一生懸命話をしてくれた子ども議員のみんな、大変ありがとうございました。もしあれば、来年もよろしくお願ひします。

### 「初めての子ども議会」

福山市立神辺東中学校 2年 馬屋原 夢路

ぼくは、福山市についてくわしく知りたかったり、他の学校の人と交流したくて子ども議員に応募しました。

ぼくは、福山市のまちづくりには興味がなく、他人事のように考えていました。でも、事前学習会や市政の学習をするにつれて、他人事だった市のまちづくりを自分と関連づけたり、意見を持てるようになるなど、かなりまちづくりへの興味がわきました。

他の学校の人と交流をしたかったけど、いざ行ってみると、会場の雰囲気の違い、周りにはぼくと確実にレベルの違うオーラをまとった人がたくさんいて、ぼくは驚きを超えて恐怖を感じて委縮してしまいました。でも、同じグループの人が話しかけてきてくれて、とてもうれしかったです。

ぼくは、子ども議会でたくさん貴重な経験ができ、参加してよかったと思いました。

### 「本会議」

福山市立福相小学校 5年 小野 仁瑚

私は、子ども議会を経験して得たもの・感じたことがたくさんあります。

例えば他校の方々との交流です。中学生の班長や副班長は班をしっかりとまとめてくれたり、原稿へのアドバイスをくれたりと、見習うべき点がたくさんありました。また、班の中で自分の意見を言うと、班のみんなはしっかりとまっすぐに聞いてくれて、一気に自分に自信が持てるようになりました。

それは本会議でも同じです。たくさんの人達の前で発表するのはすごく緊張したけど、班のみんなが最終確認の時、「頑張ろうね」と明るく声をかけてくれて、緊張がほぐれて、班のみんなで考えた意見をしっかり言えて、すごく成長できたように感じました。他の班の人達も「福山市」のことをしっかり考えているのが感じられて、その姿がすごくカッコよくて、自分もああなりたい、ああなれるように頑張らなきゃと思いました。

子ども議会後は、自身の気持ちも前向きになったように感じました。子ども議会にはまた参加しようと考えています。



みなさん、  
おつかれさまでした！

「子ども議会」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。

○ 高校生サポーター

足立 美咲 （広島県立福山誠之館高等学校）

新田 晟 （広島県立福山誠之館高等学校）

○ 事前学習会講師，関係課

企画財政局 企画政策部 企画政策課

経済環境局 環境部 廃棄物対策課

市民局 まちづくり推進部 人権・生涯学習課

市民局 まちづくり推進部 スポーツ振興課

建設局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

教育委員会 学校教育部 学びづくり課

議会事務局 庶務課

議会事務局 議事調査課

## あしがき

福山市では、次代を担う子どものまちづくりへの参画を推進するため、2009年度（平成21年度）から「福山市子ども議会」を開催してきました。学習会を通じて福山について学び、よく知ってもらい、福山のことをもっと好きになってもらいたい、そして、ふるさとに愛着と誇りを持ってほしいという願いも込められています。

以来13回目となる本年度まで、多くの子どもたちが子ども議会に参加し、子どもの立場から市政に対する質問や提案をしてくれました。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事前学習会が延期や中止となり、本会議を開催できない可能性もありました。そんな中、子ども議員の皆さんは、再開された事前学習会で元気な姿で参加し、本会議に向けて意欲的に取り組んできました。

この報告書は「2021年度（令和3年度）福山市子ども議会」のあゆみを振り返り、子どもたちのまちづくりへの参画を促す機会になればと作成いたしました。

福山市のすべての子どもたちの未来が、素晴らしい出会いと希望に満ちたものとなることを願い、お届けします。

2022年（令和4年）3月

福山市 市民局まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課 職員一同

「2021年度（令和3年度）福山市子ども議会 報告・感想文集」

2022年（令和3年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

〒720-0831

広島県福山市草戸五丁目1 2番3号

(084) 928-1046